

## 歴史研究課通信 (1回)

◆當課が観測部に當分の間居候する事となつて新設されて半年、課長は目下外遊中の事として留守を守る事で精一杯、然し其の間にも6月6日には當課員の有志は伊勢徴古館の保井春海作の天球儀・地球儀、神宮文庫の保井春海自筆の「天文瓊統」の調査を爲す。昨年より今年に互り2回高知に山本課長と大口副課長は山内家・谷家の天球儀・地球儀の調査を試みられた。愈々課長の歸朝を待つて10月頃に當課の會合を開き、順調な進歩を軌道に載せて課員の募集・研究の題目・方針を審議する豫定、入課希望者と御意見のある方はドシドシと當課宛に御申込みを、尙當課の研究發表機關は天界副讀本たる「銀河」に於いて發表する事となりました。(周 星)

**編輯後記** 北支に端を發した支那事變も、次第に擴大されるの止むなきに至り、會員中にも既に出征されし方々も多數ある事と思ひます。今後、應召せられる會員は、餘裕あれば、出來得る限り本部に御通知下さるやう願ひます。吾々一同、出征將兵諸氏の勞苦に感謝すると同時に、武運長久を祈つてやまぬ次第であります。

今月も各方面から貴重な論文を集める事が出來、大いに自慢であると共に、執筆諸氏に深く感謝する次第です。(星見)

天 界 第 1 9 7 號 昭和12年8月24日印刷 [定價金30錢] 送料金1錢  
昭和12年8月25日發行

編輯兼 京都市山科、花山天文臺内(振替大阪56765)東亞天文協會(代表者山本一清)  
發行所 京都市中京區柳馬場三條南入 株式會社似玉堂 [電本426 427.4501]  
印刷者 京都市中京區柳馬場三條南入 福井松之助  
賣捌所 東京市芝區南佐久間町2の3 恒 星 社(振替東京64738)